

# 令和7年度相模原市 AI オンデマンド交通システム構築・運営業務委託 仕様書

## 1. 業務の概要

### (1)業務名

令和7年度相模原市 AI オンデマンド交通システム構築・運営業務委託

### (2)契約期間

令和7年5月●●日から令和8年3月31日まで

### (3)業務の場所

相模原市緑区内 一円

### (4)支払い

本業務の支払い方法は、一括払いとする。

## 2. 業務の目的

相模原市中山間地域(津久井地区・相模湖地区・藤野地区)における AI オンデマンド交通の導入にあたり、予約受付及び配車管理を行うシステムを構築し、システム運営を行うことを目的とする。

## 3. 委託内容

### (1) AI オンデマンド交通システムの構築および運用

本市中山間地域における AI オンデマンド交通の導入にあたり、予約受付、配車管理を行うシステムの構築、提供及び運用を行う。実証実験の実施に関する条件については以下のとおり。なお、地域調整等により運行エリアや稼働時間などの軽微な変更が必要となった場合には、修正などの対応について協議を行うものとする。

#### ① 構築時期

システム構築及びセットアップ

契約締結日～令和7年9月30日(火)まで

※配車・運行管理については令和7年10月1日からのシステム稼働を予定しているが、予約受付についてはシステムの稼働及び1週間前から開始するものとする。なお、システムの作動状況を確認するため、デモ運行を令和7年9月10日までにを行うものとし、実施日については協議を行うものとする。

## ② システムを導入する運行内容

### (ア)運行区域

- ・相模原市緑区津久井地区、相模湖地区及び藤野地区の一部エリア約 200 km<sup>2</sup>を対象とする。
- ・詳細は別添「運行区域図」のとおり。

### (イ)乗降ポイント

- ・発注者は300か所の乗降ポイントを設置することを想定しているが、増減する場合は協議を行うものとする。

### (ウ)運行形態

- ・各エリアと時間帯により定時定路線運行及び需要応答型時刻表運行(以下、セミデマンド運行)、需要応答型随時運行(以下、フルデマンド運行)を組み合わせた運行を行うものとする。
- ・詳細は別添「運行計画」のとおり。

### (エ)運行日

- ・毎日

### (オ)運行時間

- ・午前 6 時から午後 8 時まで

### (カ)車両台数

- ・予約定員 8 名の車両×4 台
- ・予約定員 4 名の車両×3 台 計 7 台

## ③ システム概要

### (ア)予約・配車・運行管理に関わる基本機能

- ・本システムは、運行を受託する事業者におけるオペレータによる電話受付又は利用者アプリ(WEB)による乗車予約を受け付け、予約された時間と場所に乗合車両を配車するシステムとすること。
- ・予約締切時間を任意に指定することができること。
- ・運行区域内の乗降ポイント間の予約が可能であること。
- ・予約受付時に概ねの出発時刻・到着時刻を通知するシステムとすること。
- ・乗車受付時に、乗合発生可能性を考慮した上で、目的地への到着時刻の指定が可能であること。また、到着時刻に最長30分のバッファ調整が可能とすること。
- ・利用者からの予約(電話・アプリまたは Web・LINE)を受け付け、瞬時に運行車両へ乗車降車情報を配信できること。
- ・システムに蓄積されたデータにより、利用頻度の高いルート、利用者層・時間帯、乗合数などの利用状況データを分析でき、更なる利用促進に向けた運行方法の改善検討等に活用できるシステムとすること。

- ・本システムの利用者数は、車両1台1日当たり約 40 人の利用者数を処理することのできるシステムとすること。
- ・配車計画等の情報は、オペレータの他、運行事業者、発注者等でリアルタイムに共有可能なシステムとすること。
- ・利用者がアプリまたは WEB を使用し自分で直接予約の登録・変更・取消操作が行える機能を有すること。
- ・地域の特性に合わせて、各々以下に示すような柔軟な運行形態が車両、曜日、時間帯別に組合せが可能なシステムとする。また、その運行実績を有すること。
  1. フルデマンド運行
  2. セミデマンド運行
  3. 定時定路線運行
- ・システム上の運行エリア間での移動禁則ルールの設定が可能で、車両、時間帯ごとに運行形態の設定が可能な機能を有すること。また、現時点では8エリアを想定しているが、エリアの設定数は15エリアまで追加設定を可能とすること。
- ・システム上で2つの運行エリアをまたいだ予約が一度に可能なこと。
- ・本システムのオペレート業務は、専門知識や地元地理に精通していない者でも、予約受付や運行管理の業務を無理なく行うことが可能とすること。
- ・Web での予約受付時間は 24 時間可能とすること。
- ・「大人、子ども、乳児、幼児、障がい者、介護者、その他」等の 7 決済区分以上のシステム設定ができ、決済区分毎に運賃を設定でき、また各運賃・合計金額は常に自動でドライバーに表示・把握できる機能を保持すること。
- ・MaaS アプリ等への API 連携が可能であること。
- ・その他、AIオンデマンド交通配車に係る、別添「機能要件一覧」(AI オンデマンド交通システム)に沿ったシステムを構築し、運営・保守を行うこと。

#### (イ)ドライバーアプリ

- ・ドライバーアプリは乗務員に対するナビゲーション機能を有すること(利用者の乗降場所及び運行ルートを表示など)。また、予約発生時に適切にドライバーに通知する機能を有すること。
- ・運行に必要な利用者に関する情報(利用者メモ、乗降場所メモなど)を共有する機能を有していること。
- ・利用者が乗車及び降車した情報を、システムサーバへ送信する機能を有していること。

#### (ウ)運行管理機能(管理者Web)

- ・指定のURLにアクセスすることで利用可能とすること。
- ・運行車両全体の予約状況・個別の配車状況を確認できること。

- ・利用者情報を登録、修正、削除できること。
- ・利用者の予約状況を把握できること。また、予約情報を登録、修正、削除できること。
- ・配車指示する車両を登録、修正、削除できること。また、運行により取得する乗降データを無料で出力できること。
- ・異常発生時に速やかに対応できる体制を確立しておくこと。
- ・利用実績(日別・時間帯別等)を随時確認できること。
- ・利用実績(1件明細の乗降履歴・日別・時間帯別等)を無料でCSV等のファイル形式でダウンロードすることが管理者権限で制約なく実施できること。

## (2) 利用方法の説明・指導等

### ① 本市担当者への説明・指導

### ② 運行事業者への説明・指導・研修会の実施(令和7年8月頃に2回の実施を想定している)

- ・研修計画を作成し、事前に発注者の承認を得ること。
- ・研修会の内容は、原則として受講者が端末を実際に操作して行う内容を含んだものとする。
- ・研修会で使用するテキストは受注者が準備すること。
- ・研修会場、使用するクライアント端末、プロジェクター及びスクリーンは発注者が準備するものとする。ただし、研修内容に応じて本市と十分に協議を行うものとする。
- ・必要に応じ、オンライン研修、動画配信による研修など対面を回避した研修手法の提案があること。

### ③ 住民説明会における説明・指導に係る相談・支援(開催日時は協議を行う。6回想定)

- ・操作説明会の内容は、原則として受講者が端末を実際に操作して行う内容を含んだものとする。
- ・操作説明会で使用するテキストは受注者が準備すること。
- ・説明会場、使用するクライアント端末、プロジェクター及びスクリーンは発注者が準備するものとする。ただし、研修内容に応じて発注者と十分に協議を行うものとする。

## (3) 利用促進支援

### ① 地域合意形成に向けた支援

- ・各地域における「乗合タクシー利用促進協議会」のほか、「市地域交通活性化協議会」等へ出席し、システム概要の説明等を行うこと。乗合タクシー利用促進協議会:5地区×2回=10回想定。市地域交通活性化協議会:道路運送法21条申請時及び実証運行開始前の2回想定。

#### (4)その他運行開始準備業務

##### ① 乗務員用タブレット等備品の貸与

- ・運行に必要な乗務員用タブレット等の備品については、受注者が手配し貸与すること。なお、故障時の補償・通信費についても受注者が行う。受注者は発注者が車載端末を運行事業者に使用させることを認めるものとする。

#### (5)打合せ・協議

- ・デマンド交通システムの導入、運営に必要な打合せ・協議をおこなう(3回想定)。

#### (6)納品物

- ① サービス説明書
- ② システム設定書
- ③ ユーザーアプリマニュアル
- ④ ドライバーアプリマニュアル
- ⑤ 管理者Webマニュアル